

Osu Hospital Information

病院案内

2023年



A sunset over a mountain range. The sun is low on the horizon, partially obscured by a mountain peak, creating a bright glow and lens flare. The sky is filled with soft, golden clouds. A white rectangular box is superimposed over the upper half of the image, containing the text "地域を愛し、愛される存在".

地域を愛し、愛される存在

目次

introduction

理念・基本方針	4
院長あいさつ	5

information

診療時間・フロア紹介	6
紹介患者受診フロー・画像診断受診フロー	7
地域連携福祉相談室	8

各科紹介

内科	9～12
外科	12～14
整形外科	15
小児科・婦人科	16
放射線科	17
耳鼻咽喉科・皮膚科・泌尿器科	18
救急科	19
総合健診センター	20～23
内視鏡センター	24

部門紹介

看護部	25
栄養科・薬剤科・臨床検査科	26

病棟紹介

急性期病棟	27
回復期リハビリテーション病棟	28～29
リハビリテーション	30～32

在宅部門

訪問診療	33
訪問リハビリテーション	34

information

アクセス・施設概要	35
-----------------	----



理念

大須地域および名古屋の持続的な健康増進に貢献する

基本方針

1. 主役は患者さん

患者さんの権利とプライバシーを尊重した医療を行います。
患者さんに十分な説明をし、納得される医療を行います。
患者さんに心のこもった対応をし、癒し・安らぎのある医療を行います。

2. 安心して受けられる医療

新しい知識・技術の習得に励み、高度で良質な医療に努めます。
安全で信頼される医療を提供するため、院内感染・医療事故防止に努めます。

3. 地域社会への貢献

医療を通して、地域社会の一員として貢献できるように努めます。
地域の中核病院として、他の医療・介護・福祉機関との連携を積極的に進めていきます。

ごあいさつ



2023年4月1日をもって院長に就任しました梅村将成と申します。

当院は、1971年3月に当時の電電公社により東海通信病院として開設され、変遷を経て、2021年10月1日に新たに大須病院として生まれ変わりました。私たちは、大須病院を利用して下さる地域の皆様の持続的な健康増進に貢献することを使命とする、地域密着型の病院を目指しております。

検査・治療がますます高度化・専門分化する医療の中で、地域とともに生きる私たちに期待されているものは、いざという時に気軽に利用できるかかりつけ病院でありながら、質の高い専門性を兼ね備えた病院であると考えます。

当院には、急性期部門・回復期リハビリテーション部門・健診部門と大きく分けて3つの柱があり、その各々を密に連携させることで専門性の高いかかりつけ病院となり、この地域の地域包括ケアシステムにおける「核」になることが出来ると考えております。

地域を愛し愛される医療人になるべく、すべての職員が質の高い心のこもった医療を提供できるよう、日常診療と自己研鑽に励んで参ります。

大須病院は、地域の皆様が可能な限り住み慣れたこの大須・名古屋地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、最大限のサポートさせていただきます。引き続き皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

大須病院 院長 梅村 将成

外来のご案内 各科の診療時間

	受付時間	診察時間
内 科	8 : 3 0 ~ 1 6 : 3 0	9 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0
外 科	8 : 3 0 ~ 1 1 : 3 0	9 : 0 0 ~ 1 2 : 0 0
整 形 外 科	8 : 3 0 ~ 1 1 : 3 0	9 : 0 0 ~ 1 2 : 0 0
小 児 科	8 : 3 0 ~ 1 1 : 3 0	9 : 0 0 ~ 1 2 : 0 0
耳 鼻 咽 喉 科	8 : 3 0 ~ 1 1 : 0 0	9 : 0 0 ~ 1 2 : 0 0
皮 膚 科	8 : 3 0 ~ 1 1 : 0 0	9 : 0 0 ~ 1 2 : 0 0
婦 人 科	8 : 3 0 ~ 1 1 : 0 0	9 : 0 0 ~ 1 2 : 0 0
泌 尿 器 科	8 : 3 0 ~ 1 1 : 0 0	9 : 0 0 ~ 1 2 : 0 0

休診日 : 土曜日、日曜日、祝日、年末年始
 ※救急応需に関しては24時間365日対応させていただいております。
 電話番号:052-212-8981

診療科目 : 内科、小児科、外科、整形外科、リハビリテーション科、皮膚科、
 泌尿器科、婦人科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、救急科 (12科)

院内フロアのご紹介

北館

5F	会議室
4F	回復期 リハビリテーション病棟
3F	回復期 リハビリテーション病棟
2F	一般病棟
1F	診療各科・受付・会計 総合健診センター 地域連携福祉相談室・CT・X-P
B1F	内視鏡・腹部エコー・ 心エコー・リハビリ訓練室

南館

4F	病棟改装工事中
3F	病棟改装工事中
2F	手術室
1F	管理階フロア・ 会議室
B1F	CT・MRI等

渡り廊下

紹介患者さんの受診フローチャート

step

1

紹介元医療機関

「診療申込書」をFAX送信をお願いします。

カルテ作成の基にしますので、内容は正確にご記入願います。

予約受付時間 平日 8:30～17:00 (土日祝日及び年末年始を除く)

FAX 052-212-8436 (地域連携福祉相談室)

step

2

医療連携担当

「紹介患者さんの予約票」をFAXで返信します。

step

3

当日持参書類

受診当日、患者さんにご持参いただく必要書類です。

●予約票 ●診療情報提供書 ●健康保険証 ●お薬手帳

※診療情報提供書の「(控)」は貴院で保管願います。

step

4

受診・検査

患者さんは当日、本館（北館）1階①受付の窓口にお越しください。

step

5

結果報告

受診結果については、診療担当医が作成した「来院報告書」を

FAX等にて後日送信いたします。

検査結果については、所見結果が出来上がりしだい、送付いたします。

CT、MRI等画像診断の受診フローチャート

step

1

紹介元医療機関

TEL:052-212-8368 (放射線科 直通) までご連絡ください。

予約受付時間 平日 8:30～19:00 (土日祝日及び年末年始を除く)

<ご確認項目>

・施設名、検査種別 (CT・MRI)、撮影部位、検査希望日時

・患者さんの名前・生年月日・性別

・造影の有無 (有の場合:アレルギー歴・既往歴・血液データ・糖尿病薬の有無)

<検査日決定後>

「診療申込書」をFAXで送信願います。

FAX 0120-056-378

step

2

放射線科担当

患者さんにお渡し頂くもの

●検査予約票 ●検査のご案内 ●診療情報提供書

step

3

検査当日

患者さんは当日、本館（北館）1階①受付の窓口にお越しください。

検査当日、患者さんにご持参いただくもの

●検査予約票 ●健康保険証 ●診療情報提供書

検査後に当院より患者さんにお渡しするもの

●診察券 ●CD-R ●読影報告書

検査時間枠

MRI検査 10時、11時、14時、15時、16時 (水曜日のみ15時30分)

CT検査 10時20分、15時

*当日緊急も臨機応変に対応させていただきますので、ご連絡ください。

地域連携福祉相談室

概要

地域連携福祉相談室・患者様相談窓口では、紹介患者受け入れのための病床管理の支援、退院調整及び各種相談業務を行っています。私たちは、地域の医療・福祉・介護機関との連携の窓口として結ぶ役割を担い、患者さんからの疾病に関する質問や生活上の不安など、さまざまなご相談をお伺いしています。



入退院支援

退院後の生活に不安のある方に対し、患者さん・ご家族とご相談しながら支援しています。

- 介護保険及び介護・福祉サービスの利用について
- 在宅医療（訪問看護・訪問診療の利用に当たる相談窓口）

※在宅介護が諸事情により難しい場合には、療養先についてご相談を受けています。

医療福祉相談

病気やけがをされると、治療や療養の妨げとなる様々な生活上の不安や心配などが生じます。患者さんやご家族が抱える様々なご相談をお受けし、その不安を軽減するための方法を一緒に考え、援助します。

- 福祉サービスや制度に関するご相談と利用への援助
- 療養型病院への転院、介護福祉施設の紹介・調整
- 退院後の生活に係るご相談
- セカンドオピニオンに関する相談
- 医療費などの経済的な問題のご相談

回復期リハビリテーション病棟 相談窓口

急性期病院からの紹介受付、調整
地域の医療・福祉・介護機関からのご相談・紹介受付、調整

※電話相談後、診療情報提供書をFAXして頂き、受け入れを検討致します。ケースによっては、面談・見学等の後に入院希望であれば日程調整します。

※当院では医療・看護・介護・リハビリテーションを法人内の各施設が連携を取り、一体的なサービスが提供出来ます。

ご利用方法

ご相談の際は病院受付・主治医・看護師・その他医療スタッフを通していただくか、直接ご連絡の上、地域連携福祉相談室へお越しください。

受付 平日 8:30～17:00

お問い合わせ 電話：052-212-8427／FAX：052-212-8436

電話番号をお確かめのうえ、お間違いのないようお願いいたします。

※秘密は厳守いたします。

※ご相談は無料です。

※その他、ご質問・ご相談がございましたら、地域連携福祉相談室にお尋ねください。

内科

内科が担当する領域はとても幅広いですが、一方で全体を見渡せる診療科でもあります。診察の結果、専門的な医療が必要な場合は、適切な診療科へつなげ、あるいは適切な医療機関へご紹介いたします。からだのことを気軽にご相談できる窓口として、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、お手伝いさせていただきます。

主な対応疾患

- 呼吸器
肺炎、肺癌、慢性閉塞性肺疾患、間質性肺炎、気管支喘息、慢性呼吸不全、肺高血圧など
- 内分泌
糖尿病、甲状腺疾患、副腎疾患など
- 血液疾患
骨髄異形成症候群など
- 総合内科的疾患
緩和医療

循環器内科

主な対応疾患

- 急性および慢性心不全（高血圧性心疾患、虚血性心疾患、心臓弁膜症、拡張型心筋症、肥大型心筋症）
- 狭心症、不整脈の内科治療
- 心臓の手術後：カテーテル治療後（ステント植え込み後など）、人工弁置換後、除細動器植え込み後など
- 循環器リスク因子：高血圧、脂質異常症、糖尿病、禁煙など

なお、心臓カテーテル治療や手術が必要な症例等では最適な施設をご紹介しています。

脳神経・認知症センター（もの忘れ外来&オレンジカフェ）

そもそも、もの忘れとはいったん覚えた内容を思い出せないこと（想起、再生の障害）を意味します。

そして、もの忘れは老化によっておこる生理的現象である場合もありますが、中には病気が隠れている場合もあります。もの忘れを主症状とする疾患のなかで一番多いのはアルツハイマー病で、アルツハイマー型認知症という言葉聞いたことがある方も多いと思います。アルツハイマー型認知症を代表とする認知症患者さんは、2012年には462万人でありましたが、今後もさらに増加し2025年には730万人に達すると予測されており、ますます増加傾向です。

脳神経・認知症センターは、そのようなもの忘れでお困りの患者さんに、専門的な精査治療・家族や介護者へのアドバイス・日常生活のフォローなどを総合的に行うことができます。また、認知症のフォローアップにおいては外来診察や投薬だけでは不十分で、医療と福祉、介護の分野との密な連携が必要です。当院認知症センターは関係各所と連携し、認知症の予防、早期発見、治療、ケアなど、一人一人の状態にあった診療を心がけております。

最近忘れっぽい、もの忘れ症状で困っている、家族として一度話を聞いて欲しい、など認知症やもの忘れにまつわることを何でも気軽にご相談ください。

脳神経内科

主な対応疾患

- 脳梗塞、脳出血、脳動脈解離、脳血管性認知症
- 神経難病などの神経変性疾患（アルツハイマー病、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症、パーキンソン病、脊髄小脳変性症、多系統萎縮、筋萎縮性側索硬化症）
- 自己免疫が関与する多発性硬化症、視神経脊髄炎、重症筋無力症、多発性筋炎、急性炎症性脱髄性多発神経炎、慢性炎症性脱髄性多発神経炎
- しびれや痛みを呈する末梢神経疾患
- 頸椎症、脊柱管狭窄症、筋ジストロフィーなどの筋疾患
- 頭痛、片頭痛、緊張型頭痛、顔面神経麻痺、顔面痙攣、三叉神経痛、肋間神経痛、坐骨神経痛、不眠、てんかん、脳炎、髄膜炎、中毒、遺伝病、脳脊髄液減少症、睡眠時無呼吸症候群、嚥下障害、構音障害、失語、痙攣、痙性麻痺

血液内科

診療科の概要

- 血球減少の原因精査（骨髄穿刺・生検）
- 慢性骨髄性白血病、多発性骨髄腫の抗がん剤治療
- 骨髄異形成症候群、再生不良性貧血の輸血療法（赤血球・血小板輸血）
- 特発性血小板減少性紫斑病、赤芽球癆の内科治療
- 血液腫瘍治療後の外来
- 真性赤血球增多症、本態性血小板血症の治療
- 血液腫瘍の緩和治療

その他、血液疾患の疑いがあれば対応致します。

無菌室管理や長期入院を要する治療が必要な症例では最適な施設をご紹介します。

常勤医師のご紹介

名誉院長 循環器内科医師

佐藤 泰正 (さとう やすまさ)

出身大学 名古屋市立大学(1977年卒)

専門分野 総合内科/循環器内科

資格など 身体障害者福祉法第15条指定医師/日本医師会認定産業医
難病指定医/臨床研修指導医要請講習会修了
緩和ケア研修会修了/回復期リハビリ専従医師研修会修了
社会学系専門医・指導医(医療情報学)

診療実績

心不全/肺炎/肺非結核性抗酸菌症/脳梗塞/腎盂腎炎、腎不全/廃用症候群 etc.



医師からのメッセージ

内科一般について診療を行っていますが心臓病や高血圧、糖尿病の患者さんが多くなっています。学会は循環器学会、心臓病学会だけでなく、高血圧学会、糖尿病学会、脈管学会にも所属しています。その訳は心臓病や脳卒中は血管の病気に起因するのがほとんどで、大部分が動脈硬化が原因です。この動脈硬化疾患には、その背景に肥満や糖尿病、高血圧、高脂血症があります。実際に高血圧や狭心症・心筋梗塞、脳梗塞などの病気は、肥満、糖尿病、高脂血症を併せ持つ人が多く、以前から生活習慣病として注意を喚起されており、昨今では「メタボリック症候群(内臓脂肪症候群)」と呼ばれ、予防、治療の取り組みが強化されています。

内科部長 循環器内科医師

山本 浩司 (やまもと こうじ)

出身大学 名古屋市立大学(1998年卒)

専門分野 循環器内科

資格など 医学博士/日本内科学会 総合内科専門医
日本循環器学会 循環器専門医

診療実績

循環器内科一般/肺炎/脳梗塞/緩和ケア etc.

医師からのメッセージ

専門にとらわれない全人的な医療を心がけています。医療においては、正解が一つに決まらないことがたびたびあります。患者さんとよく相談しながら、納得のいく答えを見つけていきたいと思っております。これまで以上に地域に必要とされる医療機関になれるよう、引き続き努力してまいります。



循環器内科医師

谷口 彰彦 (たにぐち あきひこ)

出身大学 東北大学(1984年卒)
名古屋大学大学院(1989年-1993年)

専門分野 循環器内科

資格など 医学博士
日本内科学会認定内科医
日本循環器学会認定循環器専門医

医師からのメッセージ

循環器疾患の症状は動悸や胸の痛みだけではなく、咳や体のだるさ、足のむくみなど一見心臓とは関係が無いように思われるものまで様々です。当科では、心不全、冠動脈疾患(狭心症や心筋梗塞)、不整脈、高血圧関連などの疾患を診断治療しており、内科全般の幅広い医療を提供できるよう努めています。気になる症状がある場合や、何科を受診してよいかわからない場合には、ぜひ当科を受診していただきたいと思います。これからも患者さんひとりひとりに丁寧な説明と最適な治療をお届けできるよう、気持ちにより添った対応を心がけてまいります。



脳神経・認知症センター長

竹内 茂雄（たけうち しげお）

出身大学 愛知医科大学（1988年卒業）
名古屋大学大学院（1990年—1994年）
名古屋大学 teaching assistant（1992年—1994年）
米国Yale大学（1997年—2000年）

専門分野 神経内科学／自律神経学／脳卒中学／臨床神経生理学



資格など

医学博士（名古屋大学 甲第 2905 号 1994 年）／医籍登録（1988 年）／日本自律神経学会評議員／
日本神経学会認定神経内科専門医／日本神経学会認定神経内科指導医／日本脳卒中学会認定脳卒中専門医／
日本神経生理学会認定脳波分野専門医／日本神経生理学会認定筋電図・神経伝導分野専門医／日本内科学会認定内科医／
難病指定医／臨床研修指導医／TNT 資格／ITB 資格／ボトックス資格／認知症サポート医／日本医師会認定産業医／
身体障害者福祉法第15条指定医（肢体不自由・言語聴覚機能）
現 愛知淑徳大学健康科学部講師

血液内科医師

塚崎 光（つかさき ひかる）

資格など

日本内科学会認定内科医
日本血液学会認定血液専門医

医師からのメッセージ

2022年12年より赴任した塚崎光と申します。地元の福井大学を卒業後、臨床研修を経て血液内科を選択し、白血病・骨髄異形成症候群・悪性リンパ腫・多発性骨髄腫・免疫性血小板減少性紫斑病などの診断・治療（骨髄移植は除く）に携わってきました。原因不明の貧血や血小板減少、健康診断で指摘された血球増多症など気軽にお声掛け頂ければ幸いです。微力ながら地域の皆さんの健康維持の一助になれるように精進して参りますのでよろしくお願いいたします。



血液内科医師

大岩 加奈（おおいわ かな）

出身大学 福井大学

資格など

医学博士
日本内科学会認定内科医
日本血液学会認定血液専門医・指導医
がん薬物療法専門医
細胞治療認定管理師
総合内科専門医



医師からのメッセージ

2010年に福井大学を卒業後、同学および名古屋市立大学で血液・腫瘍内科を専攻し、白血病・悪性リンパ腫・多発性骨髄腫など増殖器悪性腫瘍や造血障害（難治性貧血、血算の異常など）を中心に、固形がんの化学療法にも携わってきました。大須病院では、一般内科診療に加え、血液分野においては、貧血など血球異常の精査加療、造血器疾患の維持療法や輸血療法など、地域の病院にこそ求められる医療に貢献したいと思っております。よろしくお願いいたします。

外科

外科が対象としているのは、消化管(食道から肛門まで)、肝臓・胆嚢、膵臓、体表(皮膚皮下、乳腺)、腹壁など、広範囲にわたります。そして、手術が必要なものが主な守備範囲ですが、手術後の経過観察や、すぐに手術は必要でないが、いずれ必要となる状態も外科の診療対象です。術後化学療法や進行再発癌に対する化学療法も行っています。

主な対応疾患

- 消化管の疾患では
食道：逆流性食道炎
胃：胃癌、胃潰瘍、胃炎
十二指腸：十二指腸潰瘍
小腸：腸閉塞、急性腸炎、クローン病
大腸：大腸癌(結腸癌、直腸癌)、虫垂炎、潰瘍性大腸炎、クローン病
肛門：痔核、痔瘻、直腸脱、肛門脱便秘症、過敏性腸症候群
- 肝臓・胆嚢・膵臓の疾患では
肝臓：転移性肝癌、肝血管腫
胆嚢：胆石症、胆嚢腺筋症、胆嚢炎、総胆管結石症
胆嚢癌膵臓：膵癌、急性膵炎、慢性膵炎
- 体表の疾患では
皮膚：粉瘤、外傷(切傷など) 皮下：脂肪腫
乳腺：乳癌、乳腺症、線維腺腫
- 腹壁の疾患では
鼠径部：鼠径ヘルニア、大腿ヘルニア
術後創部：腹壁癒痕ヘルニア

など幅広い疾患に対して診療にあたっています。

主におこなっている手術は、胃癌、大腸癌、乳癌、腸閉塞、虫垂炎、痔核、胆石・胆嚢炎、鼠径ヘルニア、腹壁癒痕ヘルニア、粉瘤、脂肪腫などです。腹腔鏡を用いた手術も鼠径ヘルニア、胆石・胆嚢炎、虫垂炎などに対して積極的にこなされています。胃癌、大腸癌なども精密検査の結果対象となると判断された場合は、お勧めしています。また、当科では大腸内視鏡検査は苦痛を軽減するために、鎮静剤を使用しています。内視鏡的ポリプ切除術などの内視鏡治療も積極的にこなされています。

診療科よりお知らせ

当院は“地域のかかりつけ病院”を目指しています。つまり、気楽に通院しやすい病院でありながら、高いレベルの医療を提供することを目指しています。

ありふれた病気の治療を高度急性期病院でしかできないと通院に不便で、困ると思います。地域の方々にとっては、慣れた地元で一流のレベルの治療が受けられることが一番です。当然、すべてをカバーできるわけではなく、臓器移植や再生医療などの高度先進医療が必要な疾患、治療が難しいまれな疾患、治療に多くのマンパワーを必要とする疾患などがあります。これら、当科の守備範囲を越えた疾患については、大学病院をはじめとした高度急性期病院にいつでも紹介が可能な体制をとっています。そして、高度急性期病院での治療後、継続したリハビリや療養が必要な場合は当院で治療を引き継ぐことも行っています。

当科の疾患に関係することで何か困ったことがあれば、ご相談ください。最善の方法をご一緒に考えていきます。

常勤医師のご紹介

副院長 外科部長

福井 拓治 (ふくい たくじ)

出身大学 名古屋市立大学 (1983年卒)

専門分野 消化器外科

資格など 日本大腸肛門病学会認定大腸肛門病専門医・指導医
日本外科学会認定外科専門医
日本消化器外科学会認定医
日本医師会認定産業医
がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会修了
日本がん治療認定医機構がん治療認定医
マンモグラフィ検診精度管理中央委員会読影認定医



外科医師

丸田 守人 (まるた もりと)

出身大学 慶応義塾大学 (1965年卒)

専門分野 消化器外科 (大腸肛門外科)

資格など 藤田医科大学 名誉教授 / 日本外科学会 専門医 指導医
日本消化器外科学会 専門医 指導医
日本消化器病学会 専門医 指導医
日本消化器内視鏡学会 専門医 指導医
日本大腸肛門病学会 専門医 指導医 / 日本臨床肛門学会技術認定指導医
消化器がん外科治療認定医 / 日本医師会認定産業医
<所属学会>
日本臨床外科学会 (第62回学会総会会長)
日本大腸肛門病学会 (第58回学会総会会長)
日本ストーマリハビリテーション学会 (第20回学会総会会長) / 日本外科学会
日本癌治療学会 / 日本消化器内視鏡学会 / 日本外科系連合学会
日本腹部救急医学会 / 日本大腸癌研究会 / 日本臨床肛門病学会
骨盤外科機能温存研究会 (第11回研究会会長)
東海外科学会 (第251回東海外科学会会長) / 愛知臨床外科学会 / 中部外科学会



整形外科

整形外科は2019年より診療再開し、5年経過します。再開後は手外科・一般外傷および人工膝関節・膝スポーツ外科を中心とした診療と手術を行っております。手外科では特に手関節鏡を用いた治療を心がけており、橈骨遠位端関節内骨折・母指CM関節症・TFCC損傷・手関節ガングリオンに対して積極的に行っております。膝関節においては、変形性膝関節症に対してAI robot NAVIOを使用し、膝前十字靭帯を温存する人工関節を行なっています。また膝スポーツ外傷では骨付き膝蓋腱を用いた膝前十字靭帯再建を中心に行っており、術後はリハビリ科と連携して、患者様のreconditioningを定期的に行い、競技復帰前後のサポートを行っております。2023年4月からは、主に高齢者の頸部骨折に対してより迅速な対応を求められることから、下肢外傷センターを立ち上げ、搬送後二十四時間以内の手術治療に対応しております。今後も新たな試みを積極的に取り入れ、患者様のニーズに答えられる診療科を目指して行く所存です。

主な対応疾患

- 外傷一般
- 手・手関節周囲損傷
- 膝靭帯損傷(前十字靭帯・内外側副靭帯)・膝半月板損傷・膝蓋骨脱臼肩腱板断裂・反復性肩関節脱臼・変形性関節症(膝・股関節)

集中治療が必要な最重症例では、集中治療部を擁する施設へ紹介させていただく場合もございます。
手術症例のうち、合併症のため特に術後管理が必要な場合に、他院へご紹介させていただく場合もございます。

運動器疾患へのロボット支援技術

赤外線式人工膝関節手術支援ロボット「NAVIO」を導入

変形性膝関節症、関節リウマチ、骨壊死、スポーツや外傷による後遺症などに対する人工膝関節置換術で使用を想定。(2020年3月、ロボット支援による人工膝関節手術を開始)

主に変形性関節症(膝・股関節)に対して人工関節置換術また関節鏡を用いた再建術(手関節ではTFCC損傷・ガングリオン切除・骨折整復)膝関節では、前十字靭帯再建・半月板縫合や形成術。肩関節では腱板縫合・脱臼に対する形成術)を中心に行っています。これだけでなくさまざまな外傷にも対応していきます。



常勤医師のご紹介

整形外科部長

市瀬 彦聡 (いちのせ ひろふさ)

出身大学 藤田医科大学(1997年卒)

専門分野 整形外科/手外科・一般

資格など 日本整形外科学会専門医/日本手外科学会認定手外科専門医/
愛知学院大学非常勤講師



医師からのメッセージ

整形外科はその分野が細分化されてきており(手外科・肩・膝・股関節脊椎外科・リウマチ・腫瘍・足外科)、専門性が問われております。と同時に、さまざまな専門性がありながらも、日常多くみられる外傷の対応も必要と考えています。また当院では東京大学整形外科膝診療チーム(武富医師・乾医師・山神医師・川口医師)と診療にあたっています。今後は当院整形外科の常勤・非常勤医で患者さんのニーズに答えられるよう診療に邁進させていただきます。

下肢外傷センター長 整形外科医師

中川 明彦 (なかがわ あきひこ)

出身大学 東海大学(1995年卒)

専門分野 整形外科/外傷一般/骨折二次救急

医師からのメッセージ

2023年4月より大須病院に赴任した、整形外科の中川明彦です。名古屋セントラル病院で5年間、聖霊病院13年間、高齢者の下肢の骨折を中心に二次救急の外傷治療に専念してきました。手術法の進化向上、他職種との早期機能回復への取り組みなどを実践してきました。その経験を大須病院が目指すところの質の高い医療、迅速な急性期の対応、回復期への移行の一躍を担えるように精進してまいります。よろしくお願いたします。



小児科

新生児から中学生までの肺炎や胃腸炎、尿路感染症などの感染症、気管支喘息、アトピー性皮膚炎、食物アレルギーなどのアレルギー性疾患、ASDや不登校などの心理的疾患など各種内科的疾患に対応しています。

常勤医師のご紹介

小児科部長

水谷 文彦 (みずたに ふみひこ)

出身大学 富山医科薬科(現富山)大学(1986年卒)

専門分野 感染症

資格など 医学博士
日本小児科学会専門医
臨床研修指導医養成講習会修了



診療実績

ウイルス感染症／急性上気道炎／急性気管支炎／グループ性気管支炎／気管支喘息／急性胃腸炎／細菌性胃腸炎／アトピー性皮膚炎／アレルギー性結膜炎／アレルギー性鼻炎／不登校／発達障害／各種予防接種 etc.

婦人科

子宮がん検診を中心に、不正出血、月経不順、月経困難症などの月経異常、子宮筋腫や卵巣腫瘍などの婦人科良性腫瘍、更年期障害、性器脱、帯下異常などの検査・治療を行っています。

手術は行っていませんので、子宮頸癌、子宮体癌、卵巣癌といった婦人科悪性腫瘍疾患や、婦人科良性疾患でも手術の対象となる方には適切な医療機関を紹介しています。

※ 産科、不妊治療は行っておりません。

常勤医師のご紹介

婦人科医師

神谷 英理 (かみや えり)

出身大学 名古屋大学(2004年卒)

専門分野 産婦人科一般

資格など 医学博士
日本産科婦人科学会専門医
日本女性医学学会専門医

放射線科・放射線部

診療科の概要

放射線科では高性能機器を用いて、診断価値の高い画像情報を提供するように取り組んでいます。

CT、MRI 各装置を備え各種検査に対応しています。

病診連携にも積極的に取り組んでいます。

● 予約受付は平日 19 時まで対応しています。

● 検査結果読影レポートは、検査当日に作成し患者さんに、お渡ししています。

検査等でお困りのことがありましたら、ご相談ください。

CT

MRI

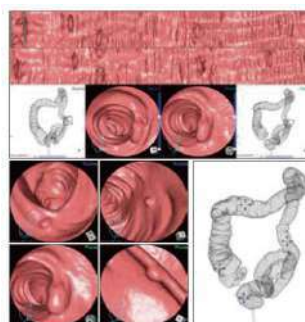
CT64列 / CT16列

3T MRI / 1.5T MRI



大腸CT検査

- ・腹部(肝・胆・膵・腎・骨盤内)の診断が可能
- ・大腸CT検査から得られる画像
腸管展開画像
仮想内視鏡画像
仮想注腸像



常勤医師のご紹介

放射線科部長

加藤 和子 (かとう かずこ)

出身大学 名古屋市立大学(1998年卒)

専門分野 診断

資格など 日本医学放射線科学会 診断専門医
マンモグラフィー読影認定医

耳鼻咽喉科

当科では、のどが痛い、耳が痛い、耳鳴りがする、めまいがする、首のリンパ節が腫れているなど、耳鼻咽喉・頭頸部にかかわる全ての悩みに対して気軽に相談していただけます。高度な治療が必要な疾患に対しては大学病院と連携をとり診療を行っています。病院ならではの咽頭ファイバーや MRI などの高度な検査機器を利用しながら、地域のホームドクターのよう耳鼻咽喉科を目指しています。

主な対応疾患

- 耳の病気
難聴、中耳炎、外耳炎、メニエール病、良性発作性頭位めまい症
- 鼻の病気
副鼻腔炎、アレルギー性鼻炎、嗅覚障害
- 口腔・咽頭の病気
口内炎、咽頭炎、扁桃炎、扁桃周囲膿瘍、唾石症、唾液腺炎、睡眠時無呼吸症候群、味覚異常
- 喉頭・気管・食道の病気
喉頭炎、急性喉頭蓋炎、声帯ポリープ・声帯結節、胃食道逆流症
- その他
顔面神経麻痺、発声障害、嚥下障害、リンパ節腫脹、唾液腺腫瘍、頸部嚢胞、甲状腺腫瘍、かぜ

皮膚科

診療科の概要

水・金曜日の午前に、皮膚科一般の外来診療を行っております。尋常性乾癬の確定診断と治療、いぼに対する液体窒素治療、AGA(男性型脱毛症)に対するおくすりによる内服治療等を行っています。

泌尿器科

診療科の概要

月・木曜日の午前に、泌尿器科一般の外来診療を行っております。
腎臓から尿管、膀胱、尿道にいたる尿路系と、前立腺、精巣の病気の検査と治療を行っています。
「尿が出にくい」「回数が増えた」「濁る」「排尿時に痛い」等の症状がある方は是非ご相談ください。
ED(勃起障害)の内服治療も行っています。

救急科

概要

救急医療を中心に地域住民の皆様にとって身近で温かい医療を提供できるよう努力し、地域の2次救急病院としてさらなる活躍をするために、体制作りを強化して参ります。

また、患者さんが地域に戻っても治療が途切れないよう、地域医療機関と密なコミュニケーションを築き、引継ぎを行っています。

当院は24時間365日、採血、レントゲン、CTやMRIなど高度な検査も可能です。

骨折を疑う症例、急性腹症なども手術が必要な症例も迅速に対応します。



常勤医師のご紹介

院長 救急科部長

梅村 将成（うめむら まさなり）

出身大学 自治医科大学（2013年卒）

専門分野 消化器外科

資格など 外科専門医
腹部救急認定医



医師からのメッセージ

2022年4月より大須病院・救急科に着任した梅村将成と申します。大須を中心とした名古屋中区の2次救急病院として、地域住民の皆様様の頼りになる存在になれるよう努力していきます。

急な体調変化やけがなど、何かお困りごとがあれば気軽に相談しにきてくださいね。

総合健診センター

概要

健康維持のためには定期的な健康状態の把握が必要です。健診センターは皆様の健康管理と疾病の早期発見をお手伝いする医療機関として、「すべての人に安心を」お届けしたいと思っています。人間ドックや生活習慣病の健診をはじめ、脳ドックや内視鏡検査、各種オプション検査も行っております。

2023年5月より北館1階に移動し、健診・検診に関するあらゆるご相談を承っております。

お気軽にお越しください。

また、当健診センターは、大須病院外来と併設されることになりました。万一、人間ドック等の結果で精密検査や専門的な診療が必要になった場合、適切な専門医を受診し、検査・治療を受けられる体制が整っております。診療との連携による迅速で、充実した対応が可能です。

みなさまに安心して健康診断を提供できるようサービスの向上に努めてまいります。

今後ともよろしくお願いたします。

大須病院 総合健診センター 連絡先

電話：052-212-8403

(お申込み・お問い合わせは 13:00～17:00)



マンモ
グラフィ



健診
センター
全体図

常勤医師のご紹介

名誉院長 総合健診センター長

佐藤 泰正（さとう やすまさ）

医師からのメッセージ

総合健診センターでは地域の皆様の健康増進と維持のために、健診の質向上に取り組み安全を確立し、安心して受診いただける健診施設を目指しています。受診者のニーズにあった健診と様々なオプション検査を提供します。健診を有意義で効率的なものとするために自院での精密検査だけでなく他の医療機関とも連携を行います。急性期とリハビリを担う病院に併設された施設であり、旧 NTT 西日本東海病院時代からの健診も引き継いでいます。職員の教育と研修を積極的に行い、自己研鑽に努めます。

医療安全・院内感染対策に取り組み安全で安心できる健診を提供します。



健診センター医師

神谷 英理（かみや えり）

出身大学 名古屋大学(2004年卒)

専門分野 産婦人科一般

資格など 医学博士
日本産科婦人科学会専門医
日本女性医学学会専門医

医師からのメッセージ

2021年4月よりこちらで勤務しております。

健康診断は、自覚症状が現れる前に病気を早期発見し、治療することを目的としています。当院では、全てではないですが、出ている結果はその日のうちに説明をさせていただきます。その際、異常が見つかった方がスムーズに精密検査や治療に進めるよう、丁寧でわかりやすい説明を心がけています。また、異常が無かった方は引き続き健康に過ごせるよう、健康相談も行っています。毎年健康診断を受けることで、皆様が健康に長生きするお手伝いができるよう、日々研鑽して参ります。よろしくお願いいたします。

健診センター医師

山田 智紀（やまだ ともき）

出身大学 藤田医科大学

専門分野 消化器一般

資格など 日本内科学会専門医
日本消化器病学会専門医
日本消化器内視鏡学会専門医



医師からのメッセージ

2023年4月から赴任した山田智紀と申します。消化器の疾患は早期発見、早期治療が大切です。そのためには定期的な内視鏡検査が望ましいですが、辛い・苦しいというイメージが強く検査に抵抗がある方が多くいらっしゃいます。当院では苦痛が少なく、質の高い検査を提供するために最善を尽くしてまいりますので、ぜひ、内視鏡検査を受けていただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

健診センター医師

浅井 純香（あさい すみか）

出身大学 山形大学

専門分野 人間ドック

資格など 日本人間ドック学会 人間ドック健診専門医
日本人間ドック学会 人間ドック健診情報管理指導士（人間ドックアドバイザー）
日本呼吸器学会 呼吸器専門医
日本内科学会 認定内科医

医師からのメッセージ

人間ドックの診察では、丁寧にわかりやすい説明を心がけております。
病院にわざわざ行くほどではない症状でも、不安や疑問に思うことがあればご相談ください。
人間ドックを受ける事により、より健康的な生活が送れるようにお手伝いできれば幸いです。

健診センター医師

木村 充志（きむら あつし）

出身大学 名古屋大学

専門分野 消化器外科

資格など 日本外科学会認定外科専門医・指導医／
日本消化器外科学会認定専門医／
日本医師会認定産業医



医師からのメッセージ

2023年4月に健診センターに赴任した木村充志と申します。この4月から健診医、産業医として地元名古屋市でスタートとなりました。地域の皆さんの疾病予防や健康増進にお役に立ちたいと思っております。また外来枠も月に1回（第二月曜午後）いただきましたので、消化器関連の治療、術後の栄養状態、漢方、肛門疾患等についてお悩みがありましたら、お気軽にご相談ください。



健診
センター
受付



健診
センター
待合

主な健診コース

定期健康診断・雇入れ健診・協会けんぽ（生活習慣病予防健診）

近年、健康経営の重要性が認識されております。是非とも貴社の健康経営にご協力させてください。検査項目は法定のものを準備しておりますが、企業様ごとのアレンジメントも可能です。

【健康診断コース】

健診 A	スタンダード（身長・体重・BMI・血圧・視力・聴力・尿検査）
健診 B	スタンダード + 胸部X線
健診 C	スタンダード + 胸部X線 + 心電図 + 血液検査

人間ドック・脳ドック

当院は、過ごしやすい空間づくりと多様なオプション検査により、長くご利用いただくことを強く意識しております。健保様ご指定の検査メニューで実施可能です。

【一般ドック】

胃部検査 A	X線（バリウム）コース
胃部検査 B	内視鏡コース

基本的な項目

問診、診察、身体計測、聴力検査、眼底・眼圧、血圧測定、心電図検査、血液検査、腹部超音波検査、胸部X線検査、肺機能検査、胃部検査、便検査
※その他オプション検査多数ご用意しております。

【脳ドック】

簡易脳ドック	脳MRI、頸動脈エコー
--------	-------------

特定健康診査・特定保健指導

40歳以上の方は、年に1回、特定健康診査を受ける必要があります。
地域の方々にも広くご利用いただいております。

基本的な健診項目 問診、診察、身体計測、血圧測定、血中脂質検査、肝機能検査、血糖検査、尿検査
詳細な健診項目* 心電図検査、貧血検査、眼底検査 ※医師が必要と認める方のみ

内視鏡センター

内視鏡センターとは

今年度、内視鏡センターの環境を新たに整え、鎮静による上部下部内視鏡にも対応できます。内視鏡検査を受ける前に漠然とした不安を感じたり、検査はとてつらいと考えている患者さんは多いと思います。当内視鏡センターでは苦痛の少ない内視鏡検査を効率よく実現できるように努めております。自動患者監視装置を設置し、血圧、脈拍、血中酸素濃度など患者さんのモニタリングを行い、安全に配慮した看護の提供を行っております。内視鏡学会のガイドラインに則って、内視鏡機器の洗浄を行い、内視鏡に伴う感染の防止にも努めています。当院で検査を受けられた患者さんが再び当院での検査を希望されますように職員一同、細心の注意を払い検査を進めています。

検査の種類

1. 上部消化管内視鏡検査

食道、胃、十二指腸疾患に対する内視鏡診断とともに、食道静脈瘤に対する内視鏡的硬化療法、早期胃癌に対する内視鏡的治療、内視鏡的胃瘻造設術などを行っています。苦痛の少ない経鼻内視鏡検査も導入しています。

2. 下部消化管内視鏡検査

近年、大腸疾患は増加傾向にあります。(厚生労働省 厚生労働統計より) 大腸ポリープ、早期大腸癌の診断および内視鏡的治療を行っています。

3) 膵胆道内視鏡検査 (ERCP)

膵癌、胆石、総胆管結石の診断、胆のう炎、胆管炎は増加しており緊急検査、治療の対応をしております。消化器内視鏡認定技師も2名おり、安全で確実な診断治療が可能です。



看護部

理念

ひとり、ひとりの方の人権を尊重し、あらゆる場面において、その人らしい暮らしといのちを大切にしたい、あたたかい看護を行います。

基本方針

1. 主役は患者さん

患者さんの権利とプライバシーを尊重した看護を行います。
患者さんに十分な説明をし、納得される看護を行います。
患者さんに心のこもった対応をし、癒し・安らぎのある看護を行います。

2. 安心して受けられる医療

新しい知識・技術の習得に励み、高度で良質な看護を行います。
院内感染・医療事故防止に努め、常に安全で信頼される看護を行います。

3. 地域社会への貢献

看護を通して、地域社会の一員として貢献できるように努めます。
地域の中核病院として、他の医療機関との連携を積極的に進めていきます。

私たちが問い続ける姿勢

利用者に最善のアウトカムをもたらす努力。聴く力と伝える力。育つ力と育てる力。

看護体制

看護職員数：149名（2023年4月1日現在）
看護師：120名
看護補助者：31名
特定看護師：1名
認定看護師：1名



ごあいさつ

「いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護」をめざして

わが国における、少子高齢化の進展による人口構造の変化と近年の経済状況は、保健・医療・福祉に大きな影響を及ぼし、また未曾有の新型コロナウイルスの感染拡大は、経済や産業を一時停止させるほどの危機的状況をもたらしています。

しかし反対に、人々の医療・介護ニーズは増大し、多様化・複雑化しています。

国民のニーズに応え、健康な社会をつくるためには、従来の病院完結型から、医療・ケアと生活が一体化した地域完結型の体制への転換が図られ、私たち看護職には、疾病の治療のみならず人々の生活を見据えた予防から介護までを包括した取り組みが求められるようになりました。

看護は、常に予防的視点に立ち、どのような健康状態にあっても、その人がその人の暮らしの中で、より自立した生活に向けて、医師など多職種と連携し、健康状態に合わせた必要な保健・医療・福祉につなぐ役割を担っています。

私たち看護職は、療養の場が病院から暮らしの場にシフトする中で、常に個々人の尊厳を基盤に人権を尊重し、専門的な知識と技術を身に付けた専門職として、健康・医療と生活、双方の視点から「いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護」を追求していきます。

日本看護協会は、私たち看護職は国家資格を持った専門職業人として、常に学習し能力に維持・開発に努める責務があると「看護者の倫理綱領」第8条に示しています。

しかし、個人の努力だけで、今日求められる高いレベルの実践力を修得し続けることは困難です。そのため、看護部では個々の看護実践力向上及びキャリア発達を支援するためのキャリア開発プログラムを整備しております。

看護部長 藤田 薫（ふじた かおる）

栄養科

概要

栄養科では、食事も治療の一環として捉え、入院中は患者さんの早期退院に貢献することを目標としています。
内科疾患や、術後のリハビリに必要な栄養管理を中心に、患者さんの年齢や病態に合わせたお食事を提供しています。
また、退院後も速やかに適したお食事を召し上がっていただけるよう、入院中の食事内容について積極的に情報提供を行っています。
外来栄養相談では、ライフスタイルに合わせ、長期的に実践可能な食事療法を患者さんと一緒に考え、提案させていただいております。
栄養相談ご希望の方は、主治医へご相談ください。



薬剤科

概要

薬剤科は、患者さんが安全に薬物治療を受けられるように、医薬品の適正使用の推進と服薬説明を行い、副作用の早期発見・防止に努め、安心して治療が受けられる環境を提供しています。また、医療チームの一員として医師・看護師・その他の医療スタッフと連携を図り、適切な医薬品管理を行い、薬学的な観点から安全な薬物治療が受けられるよう取り組んでいます。

臨床検査科

検査内容の概要

検体検査として生化学、血液、免疫(腫瘍マーカー・感染症等)、病理、一般、輸血の検査、また生理検査として心電図、肺機能、呼気NO、血圧脈波検査、超音波、脳波、神経伝導検査、睡眠検査などを行っています。
検体検査では信頼性の高い検査結果を迅速に提出する事を心がけています。また生理検査においては質の高い結果の提出と、患者さんの対応を丁寧に行うことを心がけております。



急性期病棟

急性期病棟とは

- 内科・外科・整形外科の混合病棟で、二次救急に対応する病棟です。
- 入院して検査や治療、手術が必要となる中等症の患者さんに対応する救急医療を提供します。
- 高度急性期病院から回復期リハビリテーション病棟入棟目的の転入院をお受けすることもあります。
- 短期の検査入院や在宅療養中、施設入所中の骨折・発熱・肺炎など緊急時に入院治療にて対応します。

大須病院は、医師・薬剤師・看護師・セラピスト・栄養士・介護士・社会福祉士など、多職種協働のチーム活動で(入退院支援カンファレンス、栄養カンファレンス、リハビリカンファレンス、認知症ラウンド、嚥下ラウンド、褥瘡ラウンド)患者さんをサポートします。

医療を通して地域の皆さんに安心を届けられるような急性期病棟を目指し、患者さんの毎日に寄り添った病院でありたいと考えています。



北館 2階
個室

設備 鍵付きシステム収納家具 / テレビ / 冷蔵庫 / トイレ / 洗面台



北館 2階
一般病室

設備 鍵付きシステム収納家具 / テレビ / 冷蔵庫



ダイアルーム

手術室

手術室とは

外科、整形外科の手術を行っています。外科は、鼠径ヘルニアや胆石症、虫垂炎の手術を腹腔鏡下にて行っています。

ほかに胃・大腸といった消化器疾患の手術が中心となっています。整形外科は、膝・股関節の人工関節置換術、観血的骨折手術、バネ指や神経移行術など幅広く行っています。

中でもナビシステムを東海地区で最初に導入した人工膝手術では、精度の高い手術を行っています。



回復期リハビリテーション病棟

回復期病棟とは

回復期リハビリテーション病棟では、医師をはじめソーシャルワーカーなど多職種スタッフで構成したチームでカンファレンスを行い、患者さんの状態に合わせたアプローチを行います。そして歩行や食事や排泄、更衣、入浴などの日常生活の動作を改善するためのリハビリテーションプログラムを組み、理学療法士（PT）・作業療法士（OT）・言語聴覚士（ST）・看護師を含めたチームが一体となり、リハビリテーションを提供します。

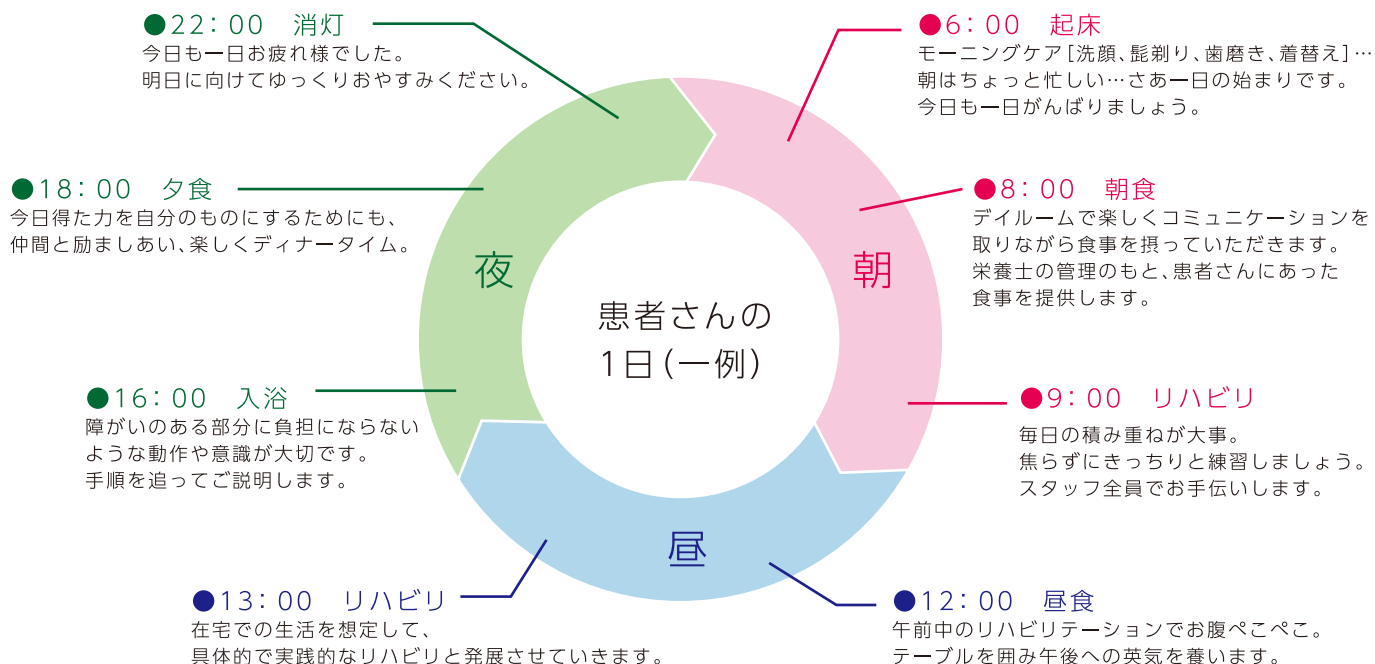
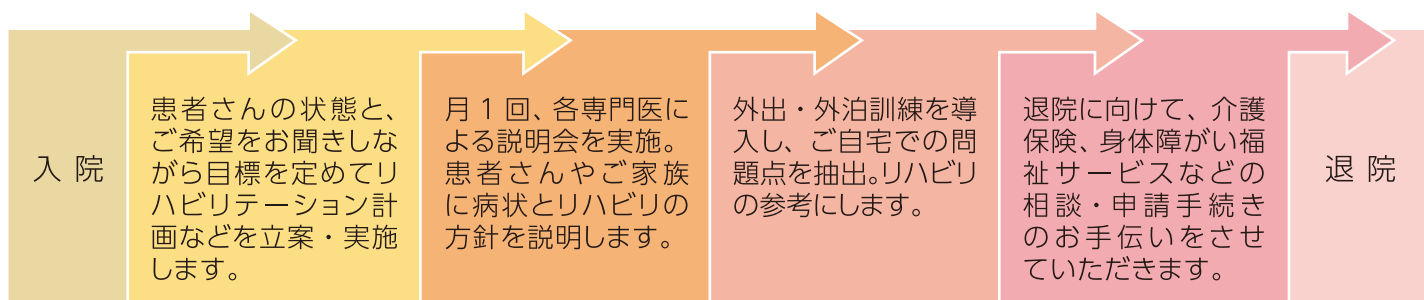
その他に家族面談や帰宅訓練などを行い、在宅復帰を目指してご家族の方にも関わっていただきます。そして患者さんの精神面にも考慮をしつつ、リハビリテーションを行ってまいります。

大須病院の特徴

- 365日1日最大3時間の個別リハビリテーションの提供を行っています。
- 入院中の患者さんが合併症を発生した場合、急性期病棟へ移って治療が受けられ、治癒したら再び回復期リハビリテーション病棟へ戻ってリハビリテーションを継続することができます。
- リハビリテーション室だけではなく、ADL（日常生活動作）を向上させるために病棟内での訓練を重視しております。
- 回復期病棟に入院される患者さんは、毎週1回歯科医師の訪問診療による口腔内チェックを無料で行っています。必要な方は保険診療にて歯科診療を継続して受けられます。
※歯科医師は週1回来院します。
- 明るく広々としたダイニングで食事をしていただきます。

対象疾患	入院期間 (最大)
脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、脳神経叢損傷等装具訓練を要する状態	150日
高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷及び頭部外傷を含む多部位外傷の場合	180日
大腿骨、骨盤、脊髄、股関節または膝関節の骨折、または二肢以上の多発骨折	90日
外科手術または肺炎などの治療時の安静により廃用症候群を有した状態	90日
大腿骨、骨盤、脊髄、股関節または膝関節の神経・筋、または靭帯損傷後	60日
股関節または膝関節の置換術後	90日
急性心筋梗塞、狭心症発作その他急性発症した心大血管疾患又は手術後の状態	90日

入院から退院までの流れ



モーニングリハビリテーション

7:45~8:30の朝支度の時間は、個別リハとしてセラピストを配置し、トイレ、寝衣からの更衣、食後の整容までの一連のADL訓練を実施しています。

イブニングリハビリテーション

17:30~19:00の夕食前後に個別リハとしてセラピストを配置し、食後の整容、トイレ、寝衣への更衣までの一連のADL訓練を実施しています。



北館4階
個室

設備
鍵付きシステム収納家具 / テレビ / 冷蔵庫 / トイレ / 洗面台



北館4階
一般病室

設備
鍵付きシステム収納家具 / テレビ / 冷蔵庫



機械浴室

リハビリテーション

自宅環境（玄関・段差廊下・お部屋（ベット）・お風呂・キッチン）を想定した“ADLシミュレーションルーム”を完備。

PT・OT・ST 合計100名体制にて最適なりハビリテーションを目指します。

ADL シミュレーションルーム

一般的な訓練をおこなうリハビリテーション室のほか、日常生活での動きを再現するために、自宅環境を想定した玄関、段差廊下、テーブルやキッチン、トイレ、バスルームを完備した”ADLシミュレーションルーム”を設けています。



玄関で下駄箱から靴を出す、上がり框を昇降する、調理をして食べる、掃除機をかける、洗濯物を干す、浴槽を掃除する、など、自宅での生活で必要となる動作を実際の環境の中で繰り返し練習することができます。



理学療法

病気、けが、高齢、障害などによって運動機能が低下した状態にある方に対し、身体機能を正確に評価し、立ち上がり、歩行、車椅子操作など、一人ひとりにあった目標を設定した上で、最大限の能力が発揮できるように支援します。



作業療法

日常動作で食べること、服を着ること、寝ること、楽しむことなど何気ない動作であっても複雑な動きや働きがあります。作業療法は生き活きとした生活を送られるよう、活動（作業）を通して、こころとからだの元気を目指します。



言語聴覚療法

上手く話せない、話が理解できない、文字が読めない、声が出にくいなどのコミュニケーションの問題や上手に噛めない、上手く飲み込めないなどの摂食・嚥下の問題の方に、自分らしい生活を構築できるよう支援します。また認知機能検査および注意障害・遂行機能障害などの高次脳機能検査も行います。



常勤医師のご紹介

回復期リハビリテーション科 部長

吉田 和雄 (よしだ かずお)

出身大学 名古屋大学(1984年卒)

専門分野 脳卒中/脊髄損傷等のリハビリテーション

資格など

医学博士/脳神経外科専門医/日本リハビリテーション医学会認定医/日本スポーツ協会公認スポーツドクター

<社会貢献活動>

スポーツドクター愛知県連絡協議会 幹事/愛知NST研究会 世話人

<受賞歴>

日本脳神経外科学会 ガレーヌス賞受賞(最優秀論文)(1992年)

日本スポーツ協会公認スポーツドクター 表彰(2020年)



先生からのメッセージ

“新生”大須病院では回復期リハビリテーションを主体とした病院づくりをしております。当院では患者さんと相談しながら最適なプログラムを組んでいます。現在在宅に復帰される患者さんの割合は85%を超えます。また残念ながら自宅に帰れなかった患者さんに対しても施設や療養型病院への橋渡しも丁寧に行っております。

特に当院は急性期病棟も併せ持っており、脳卒中再発作、肺炎、心不全など合併症の悪化、転倒による骨折などの場合は急性期に移っていただいて治療が行えます。今まで名古屋市になかった自然治癒力を引き出す新しい概念のヒーリング(癒し・安心)ホスピタルとして再出発をしていきますのでよろしくお願いいたします。

回復期リハビリテーション科医師

細江 正哉 (ほそえ まさや)

資格など 日本プライマリケア医学認定医
指導医・臨床研修指導医
日本医師会認定産業医門医
ICLS インストラクター

回復期リハビリテーション科医師

鈴木 秀斗 (すずき ひでと)

出身大学 順天堂大学
(1988年卒)

専門分野 脳神経外科

資格など 脳神経外科専門医
麻酔科標榜医

回復期リハビリテーション科医師

植村 夏実 (うへむら なつみ)

出身大学 高知大学
(2016年卒)

専門分野 一般内科

資格など 総合内科専門医



リハビリテーションスタッフ (理学療法士/作業療法士/言語聴覚士)

訪問診療



住み慣れた環境に 安心して療養できる医療をお届けします

訪問診療は、さまざまな理由で通院が困難な方に、医師がご自宅へ訪問し、定期的に計画的に診療を行うサービスです。定期的な訪問だけでなく、夜間や休日なども含め 24 時間 365 日体制で患者さん、ご家族をサポートします。相談いただいた際に、患者さんの病状、病歴、ご家族等の状況を含めた生活環境を確認させていただくと同時に、かかりつけ医療機関、ケアマネージャ等の関係者と連携して情報収集いたします。その上で、患者さん、ご家族のご希望を踏まえて診療計画、訪問スケジュールを組ませていただきます。

大須病院は 24 時間 365 日の救急医療、急性期を過ぎた患者さんを対象とした入院、外来におけるリハビリテーションを実施しており、スムーズに急性期医療、リハビリテーションに繋がられ、患者さん、ご家族に安心いただけるサービス提供体制となっていることが特長です。

また、地域医療福祉相談室には医療、介護、福祉の制度に詳しいスタッフを擁し、日ごろから行政、地域の医療機関、介護施設等の関係機関と連携を密にしていますので、地域の資源を見据え、様々なメニューの中で最適な訪問診療の利用の仕方を提案させていただくことが可能です。当院以外の医療機関で受診されている方を含め、気軽にご相談ください。

サービス提供地域

当院を中心に 16km ほどの居宅・施設

可能検査・処置

処置

点滴／注射、胃瘻／経鼻経管栄養の管理、在宅中心静脈栄養の管理、胃ろう／膀胱ろうの管理在宅酸素療法／人工呼吸器の管理、ペースメーカー、気管切開カニューレの交換・管理、褥瘡治療、人工肛門の管理、麻薬を用いた疼痛緩和ケア

検査

- お住まいで実施可能な検査：各種血液検査、超音波検査
- 外来受診で可能な検査：レントゲン、CT、MRI、内視鏡

※状況に応じて外部医療機関に検査受診をして頂く場合がございます。

問い合わせ先

受付 平日 8:30～17:30

地域医療福祉相談室 電話:052-212-8427

訪問リハビリテーション

在宅生活に難渋されている方・退院後の身体の不安な方・さまざまな理由で通いでのリハビリが困難な方に症状の改善・日常生活を安心して安全な生活を送る事ができるように経験豊富なリハビリスタッフがご利用者さんの身体の状態に合わせたプログラムを提供しサポートさせていただきます。早い時期から予防を含めたリハビリが大切です。一度ご相談ください。



対象となる方

- 要介護・支援認定を受けている方(65歳未満でも医療保険で可能の場合がございますのでご相談ください。)
- 訪問エリア内であること(下記訪問対応エリア参照)
- 3か月に1回、かかりつけ医又は当院への受診が可能であること(受診が困難な方は当院の訪問診療も可)
- 訪問リハビリテーションを行う目的が明確であること

訪問対応エリア

名古屋市中区を中心に熱田区、中川区、中村区、千種区、港区、北区、東区、昭和区に対応しております。(但し、目安としては片道25分程度が限度となります)

リハビリテーション内容

健康チェック

安全に訪問リハビリテーションをご利用していただくために利用の前後に血圧・脈拍と体温を測定し、健康チェックを行います。

日常生活動作練習

調理や洗濯、掃除、入浴動作など日常生活を送るうえで困っている動作を、実際の場面でリハビリテーションの専門職とともに練習を行います。必要に応じて、坂道や砂利道、砂地や畑などの屋外歩行練習や、実際に切符を買う動作や時間の管理、車内への安全な乗降などの公共交通機関の練習も行います。

屋外歩行練習

坂道や砂利道、砂地や畑などの不整地歩行や、買い物に行くまでの歩行の安定性や耐久性の評価なども行います。

公共交通機関の練習

実際に切符を買う動作や時間の管理、車内への安全な乗降の評価も含まれます。

サービス提供時間

営業日

月～金曜日(12月30日～1月3日を除く)

訪問時間帯

9:00～17:00

サービス利用時間

原則60分

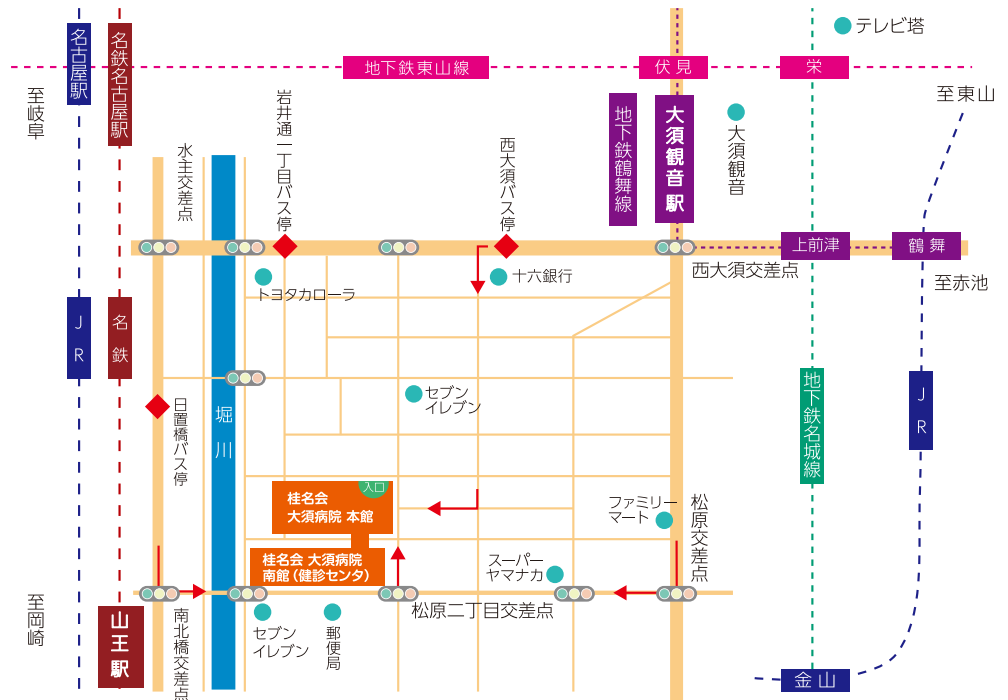
問い合わせ先

電話 :090-8868-1506(稲村)

FAX :052-212-8410

事業者番号:2310608019

Access



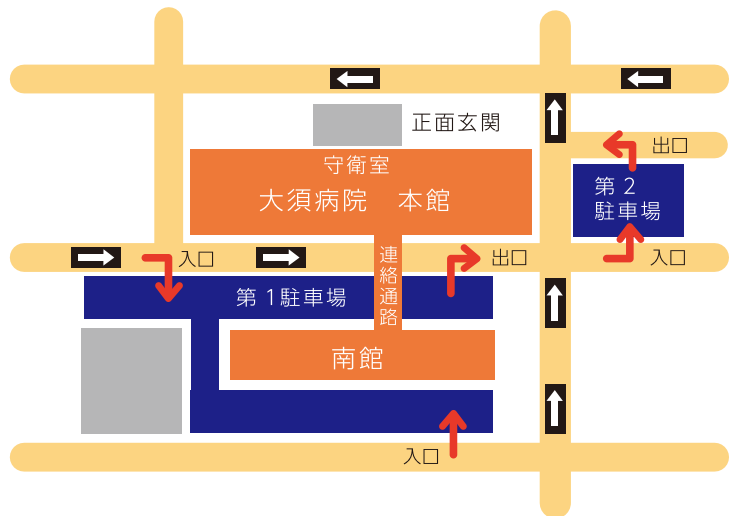
大須病院への公共交通機関でのアクセス

地下鉄鶴舞線「大須観音」駅下車	徒歩 10分
名鉄本線「山王」駅下車	徒歩 10分
市バス「日置橋」停下車	徒歩 7分
市バス「岩井通一丁目」停下車	徒歩 5分

駐車場のご案内

第1駐車場 61台

第2駐車場 15台



Profile

名 称	大須病院
院 長	梅村 将成
所 在 地	〒460-0017 名古屋市中区松原2丁目17番5号
代 表 電 話	052-212-8981 電話番号をお確かめのうえ、お間違いのないようお願いいたします。
標 榜 診 療 科	内科、小児科、外科、整形外科、リハビリテーション科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、救急科 (12科)
許 可 病 床 数	150床
職 員 数	合計 334名(令和5年4月1日現在)
健康保険取り扱い等	各種保険、労災指定、生活保護法指定病院

医療法人桂名会 大須病院

〒460-0017 愛知県名古屋市中区松原二丁目17番5号

お問い合わせ(24時間) TEL: 052-212-8981

検査予約(放射線科直通) TEL: 052-212-8368

受付時間: 平日 8:30~19:00

放射線科FAX番号: 0120-056-378

地域連携福祉相談室

TEL : 052-212-8427 ※受付: 平日 8:30~17:00

FAX : 052-212-8436

e-mail : osu-cooperation@keimeikai.or.jp

総合健診センター

TEL : 052-212-8430 ※受付: 平日13:00~17:00



<https://osu-hp.keimeikai-gp.jp/>